



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局／福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場／いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日／毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：坂本 佳友 幹事：関口 武司 発行：会報・広報委員会

第 3233 例会（3号） 2021 年 7 月 15 日（木）曇

外部卓話 SPEECH

ART AS HISTORICAL SERVICE （歴史的奉仕としてのアート）



アートディレクター

緑 川 雄太郎 様

皆さんこんにちは、私はいわき市出身、1983 年生まれで 38 歳になりました。今日は普段、私が仕事としているアートの話をします。職業がアートという絵描きを想像する方が多く、実際に私の父は絵描きですが、私はアートディレクターという後ろで企画をする黒子的な役割をしています。

今日のテーマは ART AS HISTORICAL SERVICE 歴史的奉仕としてのアートについて話していきます。ロータリークラブについていろいろ調べましたが、奉仕 Service が基本にあるとわかりました。ロータリークラブの活動を拝見すると、この奉仕はおそらく社会的奉仕であると思いました。これに対してアートは歴史に奉仕するものだと思いますのでそのことについて話していきたいと思います。

アートとは何かということについてですが、ここにマネという人の「草上の昼食」という作品があります。マネは有名な画家モネの先輩にあたります。この絵がアートの始まりと考えられています。1863 年の作品なのですが、これ以降アートは大きく変わります。マネは近代絵画の父と言われているのですが、私はこれ以降をアートだと考えています。この絵は 2 つの絵を引用していて、過去に作られた作品をコラージュして作られています。この作品を語るだけで 2 時間以上かかるので省略しますが、ここからわかることはアートには引用（QUOTATION）、更新（UP DATE）、不可解な謎の 3 つが隠れているということです。

では歴史とは何かというと「ホモ・デウス」や「サピエンス全史」などの著者である人類学者のユバル・ノア・ハラリ氏は「歴史は過去から解放されるためにある」と言っています。歴史にも、引用があったり更新があったりして、過去を学ぶことで未来を作っ

ています。

実際に何をやっているかと言いますと。例えば MOCAF（ミュージアムオブコンテンポラリーふくしま）があります。これは、富岡町にある美術館ですが、これは回転扉のみのミュージアムです。今年の 3 月 11 日に開館し、その日に解体されて焚火になりました。今はその土台だけがあります。これも過去を更新しながら未来をつくることを表しています。これは私が館長、ディレクターとして企画をしています。FUTURE AND ARTS（未来と芸術）という展覧会は森美術館で 2019 年に開催されました。私は YAP というアートグループのディレクターとして参加しています。この作品はその YAP の映像作品ですが、環境のことや未来のこと人類のことなどを考察している作品となります。次は UP DATES という展覧会です。これは 6 月に開催された展覧会で、私が企画しています。これも世界を更新（UP DATE）して行こうという展覧会で、この画像はそのうちの一つの作品ですが、これも YAP というグループの作品です。普段使っている知性・感覚・思考をいかに外して別なルールを見つけるとキーワードが出てきてそのキーワードを解くと鍵が出てくるという作品です。マネ絵というイメージから鍵まで飛躍していますが、アートであることには間違いなく、なぜなら引用があり更新があり不可解さがあるというのがアートなので、基本的にはアートの思想は形が変わっても続いているということになります。

ロータリークラブは社会に直接働きかけるアプローチ、社会的奉仕が強いと思いますが、我々アートの人たちは、直接社会に働きかけることもありますが、どちらかというと歴史を重要視しています。私たちは歴史をふまえた上でそこに奉仕するというスタンスです。

最初のマネの「草上の昼食」がなぜ重要視されているかというと、それまでは芸術は神様と王様のものでした。マネはそれを無視して描いていました。絵画に出てくる裸の女性は神話の神様か天使だったものが、現実の女性、しかもこちらを見ているという絵で、当時は破廉恥だと大変な非難を受けましたが、「それまでの常識を変える」というアートの魅力・方向性を作ったのがマネであり、その代表的な作品がこの「草上の昼食」です。



2021~2022年度
国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

SERVE TO CHANGE LIVES

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

時代時代でどういう新しい常識を作るかを考え、新しい常識を提言し、新し時代を提示するのがアートだと思います。それが歴史的奉仕であると思います。

司会：関口武司幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我等の生業）・四つのテスト（大久保健蔵会員）〕



大久保健蔵会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

アートディレクター 緑川雄太郎 様

◆新入会員入会式

ひまわり信用金庫本店営業部部长 大鳥 俊威 さん

前任の新城同様に、皆様の御指導を受けながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。



★ 結婚祝



佐藤 尚誠さん
(7月20日)

◆会長挨拶ならびに報告 (代理 野沢達也会長エレクト)



わたしが小学1年生の時の2月に今のいわき民報の場所にあった自宅が火事にあいました。夜中に起こされて避難したときの、ものが燃えるパチパチという音とにおいを今でも覚えています。その後いろいろなご支援・ご協力を受けながら、翌年いわき民報ビルが建ちました。それが50年前のことになります。そこに結婚式場ができて、レストランができて、平ロータリーの事務局もありそこで例会も行われていました。いろいろな方の思い出のある土地でもあります。

今、並木通り地区は再開発のための退去が進んでいます。来月からは解体工事も始まります。更地になってしまうと何があったかわからなくなってしまうことあるので、社員一同で記念撮影をしました。2年後には商業施設、3年後にはマンションが完成します。新しい街ができることで少しでも活性化するように日夜頑張っております。完成を楽しみにしていただきたいと思います。

◆幹事報告

- ハイライトよねやまが届きました
- いわき勿来RCより会報が届きました。
- 9月12日（日）にロータリーデー海岸清掃が行われます。地区大会記念ゴルフコンペは10月3日（日）に変更になりました。

◆委員会報告・会員報告

◆出席委員会（中村将之副委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
7月15日	51名	30名	—

◆ロータリー財団委員会（鈴木東雄委員長）

山野辺倉平さん、渡邊有さん、八幡恭朗さん、松崎浩さん。
以上4件

◆米山記念奨学会委員会（八幡恭朗委員長）

山野辺倉平さん、渡邊有さん、大久保健蔵さん、松崎浩さん、松崎倫久さん。
以上5件

◆スマイルボックス委員会（渡邊有委員長）

♥関口武司さん（緑川雄太郎様、卓話宜しく願います）♥佐藤尚誠さん（結婚祝ありがとうございます。宜しく願ひ致します）♥松崎倫久さん（早退します）♥志賀康朗さん（アートディレクター緑川雄太郎様を歓迎して）♥越智正典さん（緑川さん卓話よろしく）♥大久保健蔵さん（緑川さん卓話よろしく願ひします。お父様とはよくソフトボールを一緒にしました）♥松崎浩さん（緑川さん卓話よろしく願ひします）♥鈴木東雄さん（緑川さん卓話楽しみにしてます）♥八幡恭朗さん（緑川様、卓話よろしく願ひします）♥三瓶和秀さん（大鳥さんの入会を歓迎しまして）♥中村将之さん（大鳥さん宜しく願ひします）♥大鳥俊威さん（本日よりよろしく願ひ致します）♥郡二三子さん（大鳥さんの入会を歓迎して、緑川さん卓話宜しく）以上13名



★本日の例会案内 7月29日（木） 12:30～
会員卓話 親睦活動委員会担当

三瓶和秀親睦活動委員会委員長

お食事メニュー＝鰻 重

★次回の例会案内 8月5日（木） 12:30～
いわき分区ガバナー補佐来訪

阿部弘行ガバナー補佐